

日本文理大学 地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）

平成 29 年度 事業検討・評価委員会 事業評価報告書

平成 30 年 3 月 29 日

日本文理大学 大学 COC 事業

事業検討・評価委員会

評価基準： S:特筆すべき進捗が見られる。

A：順調に進んでいる。

B:やや順調に進んでいる。

C:やや遅れている。

D:遅れている・未実施

（総合評価、事業評価については、各委員の評価をもとに(別紙)にもとづいて判定を行う。）

【事業全体 総合評価】

総合評価： A

- 事業最終年度に向けて概ね順調に進んでいる。引き続き、地域における取組の広がり（横）と継続性（縦）について、県や市町村との連携を図るとともに、学際的な視点からの課題解決に向けた政策提案なども期待したい。
- 順調に進んでいると思われるため「A」評価とした。
- 引き続き取組をお願いしたい。
- 4年間の取り組みを経て構築された COC のスキームが、将来的に COC+ や他地域での活動に活かされ、根付くよう、最終年度の取り組みに期待しています。
- 地域課題を理解し課題を見つけて行く事は人材教育には大切であり、参画人数が増えていることについては評価する。目標以上を期待します。
- 関わっている佐賀県地区以外でも、環境系 NPO などから文理大学の学生がよく動いてくれるなど評判が良いという話を聞く。COC の成果と考えられる。

委員評価：S (1)、A (5)、B (0)、C (0)、D (0)

【教育事業評価】

事業評価： A

- 学内の取組において、地域志向科目数（240科目）、地域志向のゼミ活動（59.6%）、正課外活動（72名）が目標を達成したことに加え、学生の進路において、県内就職率が順調に伸び、30年3月卒業の見込みが39.4パーセントと大きく増加していることが評価できる。
一方で、副専攻制度において、目標に達していない点では、取組の改善や指標の取扱いの見直しなど工夫が必要であると考えます。
- 指標である「地域志向科目数」、「地域志向カリキュラムの再編成」、そして「大分チャレンジアワードの導入」等の項目において、H29達成目標を達成しているため「A」評価とした。
また、県内就職率も順調に伸びていると思われる。
- 地域での活動を通じて、地域住民の目線で課題をとらえ、自分達の問題として主体的に解決方法考える姿勢を身に付ける等、学生の成長に繋がっている。
- 学修サイクルの体系化や地域志向科目の増加・充実化が進んでいる。さらにその取り組みにより、COC+の連携校の中でもけん引的な役割を担っている。
- 学生の心の豊かさの成長に期待が持てる。
- 地域の方とのコミュニケーション能力や、自主的なイベント準備及び実行の意識が1年間でかなり向上してきている。地域課題の解決に積極的に関わっている。

委員評価：S（2）、A（4）、B（0）、C（0）、D（0）

【研究事業評価】

事業評価： A

- 地域との共同研究を行う教員数が既に最終年度（H30）目標に達するなど、着実な進展が見られる。
豊後大野市や大分市佐賀関での地区報告会を開催するなど、研究の成果のまとめを地域へと還元していることも、検証や発展に向けて今後につながる成果である考える。
- 指標である「地域との共同研究を行う教員数」がH29達成目標を達成しているとともに、調査年度から順調に伸びていると思われるため「A」評価とした。
- 活動地域で報告会を開催し、研究成果を地元住民へ還元している。
- 尚一層の地域課題の問題意識を考える効果が頼もしい。
- 過疎高齢化、人口減少の地域との活性化研究など実施している点。

委員評価：S（1）、A（5）、B（0）、C（0）、D（0）

【社会貢献事業評価】

事業評価： A

- 履修証明制度としての教育プログラムを実施できなかったことは残念であるが、リカレント教育も含めた今後の検討、対応に期待したい。
地域向けボランティアの活動数が目標を上回っていること、特に学生の主体的な活動が伸びていることは重要な成果と考える。
- 指標である「地域向けボランティアの活動数」について、H29 達成目標(800 名)を上回る実績のため「A」評価とした。
- 過疎・高齢化の進んだ地域において、若い学生が活動することが、地域の活力となっている。
- 地域向けボランティアの活動数が大きく飛躍するなど、本学校の COC の取組みが学生の社会貢献への意欲向上につながっていることが伺える。
- 人として成長が期待できる。
- 災害があったせいもあるが、ボランティアに関わる学生が随分と増えている点（県内他大学に比べても多い）

委員評価：S (2)、A (3)、B (1)、C (0)、D (0)

事業検討・評価委員会 外部委員 名簿

大分県 企画振興部 部長 廣瀬 祐宏（代理：課長 磯田 健）

大分市 農林水産部 部長 森本 亨

豊後大野市 副市長 石掛 忠男

（一財）セブン-イレブン記念財団 九重ふるさと自然学校 代表 川野 智美

大分県中小企業家同友会 代表理事 塚崎 伸一

NPO法人 おおいたNPOデザインセンター 代表理事 山下 莖三

(別紙)

総合評価、事業評価の算出方法

次式により評価点を算出し、総合評価・事業評価判定表により、判定を決定した。

評価点 =

$$(4.0 \times \text{S 評価の数} + 3.0 \times \text{A 評価の数} + 2.0 \times \text{B 評価の数} + 1.0 \times \text{C 評価の数}) \div \text{評価委員の数}$$

※小数第2位を四捨五入とし、小数第1位までの数値で扱う。

評価点	>3.7	>2.7	>1.7	≧1.0	<1.0
総合評価・事業評価	S	A	B	C	D